

パナソニック、本社の石板「Panasonic」に

2022/3/20 17:07 (2022/3/21 16:59更新) | 日本経済新聞 電子版



持ち株会社への移行を控え、本社前に設置された「Panasonic」の石板(21日、大阪府門真市)

4月に持ち株会社に移行する[パナソニック](#)は21日、社名を刻んだ本社正門の石板を「Panasonic」に変更した。家電や企業向けシステム、電池などの事業会社が独立して事業を展開するなか、「Panasonic」ブランドにグループの一体感を託す。

大阪府門真市の本社で幅3メートルの御影石の石板を取り付ける作業を完了した。石板は従来の「パナソニック株式会社/Panasonic Corporation」から「Panasonic」に変えた。「ブランドがグループをつなぐ紐帯(ちゆうたい)で、ステークホルダーとの関係を構築する重要な資産」という意味を込めたという。

4月1日に発足する持ち株会社の社名は「パナソニックホールディングス」となる。家電や電材などを手掛け、売上高のほぼ半分を占める事業会社が「パナソニック」の社名を引き継ぐ。企業向けシステムを展開する「パナソニックコネク」^ト、電池の「パナソニックエナジー」など事業会社が独立して、経営スピードを向上させる。

「松下電器産業」から「パナソニック」に社名変更した2008年にも石板を変更している。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.